

地域運営推進会議 次第

日時：平成29年10月13日（金）

午後1時30分

会場：岩沼市総合福祉センター1階教養娯楽室

1. 開 会

2. あいさつ

3. 議 事

(1) さとのもり機能訓練について 【資料1】

(2) 平成29年度上半期の実績報告 【資料2】

(3) 平成29年度上半期の活動状況報告 【資料2】

4. その他

5. 閉 会

第3回 運営推進会議録

1. 開催日時 平成29年10月13日(金) 13:30~14:50
2. 開催場所 岩沼市総合福祉センター教養娯楽室
3. 事業所名 岩沼市社会福祉協議会 指定通所介護事業所
岩沼市デイサービスセンターさとのもり
4. サービス種類 認知症対応型通所介護
5. 出席状況 出席委員8名
委員 小室 寿朗 委員 吉崎 純一 委員 森 武雄
委員 明石 良一 委員 関端 利晃 委員 鯨岡 幸浩
委員 濱野 洋子 委員 小菅 寿美
欠席委員2名

岩沼市社会福祉法人岩沼市社会福祉協議会役職員2名
会長 三浦 一郎 事務局長 佐藤 裕和

岩沼市デイサービスセンターさとのもり4名
機能訓練指導員 山口 玲子 生活相談員 武田 松男
生活相談員 岡崎 祥子 生活相談員 遠藤 和香奈

6. 内容

(1) 開会

(2) 委員の紹介

人事異動等により6月1日付けで就任 委員 関端 利晃(岩沼市役所介護福祉課職員委員)
委員 濱野 洋子(事業所の管理者)

利用者の家族退任に伴い10月1日付けで就任 委員 小室 寿朗(利用者の家族)

(3) 副委員長の選出

(司会) 副委員長を務めていただいていた宍戸つき様が9月30日付けで退任されたため副委員長が欠員になっております。運営推進会議設置要綱第5条に基づき、副委員長を選任する必要があります。どのような方法で決めたら良いか皆様にお伺いします。

(委員) 事務局一任でいいのではないのでしょうか。

(司会) 事務局案というご意見が出ました。事務局としまして、サービスを受けておられる家族の方に引き続き務めていただきたいと考え、昨年度から委員に就任されました利用者の家族菅野真由美様をお願いしたいと考えます。今日は急遽欠席となりご不在のところではございますが、皆様のご承認をいただければと思います。

(委員) (拍手)

(司会) 拍手をもって承認いただけたものとします。副委員長を菅野委員をお願いいたします。

(4) 委員長のあいさつ

今回、運営推進会議3回目ということで利用者の皆様が快適に過ごせることが大切だと思います。そのために、委員の皆様の意見を聴き進めていくことが必要と思っております。議事の審議のご協力をよろしくお願い致します。

(5) 議事

(委員長) それでは、執行部より説明をお願いします。

①さとのもりの個別機能訓練について (別紙資料1のとおり説明)

・実施している体操を体験後、使用している器具やプリント問題について説明

(委員長) 只今の議事内容について、質疑や意見ををお願いします。

(委員) 1日のリハビリの時間はどのくらいか。

(執行部) 小集団で行うものは10分程度。全員で行うものは午前と午後各20分程度行うので1日50分程度です。

(委員) 月曜日から日曜日までリハビリは受けられるのか。

(執行部) 専門職が専従で行うのが月～金曜日です。土・日曜日は、介護職員が軽体操を行います。
(地域密着型の営業は月～金曜日)

(委員) 訓練のメニューで利用者の得意・不得意はあるなか。

(執行部) まずは初回利用日に身体機能と認知機能について課題分析、評価をします。事前情報や実際に見て確認をした上で、その方に適当なリハビリメニューを提供します。実際に取り組んでみて、難しい場合は、リハビリの内容を再検討していきます。利用者が参加できるよう支援しています。

(委員) 資料の中に周辺症状があるご利用者はいるのか。その対応はどうしているのか。

(執行部) 最近あったことを例に挙げるとチケットを盗まれたと被害妄想の症状が出た方がいました。その時には、本人の話を否定すると被害妄想を助長させてしまうため、ゆっくりとお話を聞く対応をします。物盗られ妄想は、財布や鍵など自分が大切にしている物をしまい込んで見つけられなくなり、そこから被害的になり周りの人が盗ったと思ってしまうます。

(委員) 周辺症状が改善することはあるのか。

(執行部) 認知症は治ることはありませんが周辺症状は対応の仕方を工夫することや運動することなどで改善することもあると言われてます。リハビリとは、一般的にはケガや病気になる前の状態に近づけることが目的ですが、認知症の方へのリハビリは、運動したことによって皆さんと感動などのさまざまな感情を共有し、脳の活性へつなげていくことが目的です。そのことから周辺症状が改善や、進行を予防することにもつながっていきます。

(委員) 帰宅願望がある利用者はあるのか。また、食べないとはどうしてか。

(執行部) います。訴える時間は人によってさまざまですが、帰れないと説明するだけではなく時には散歩するなどの方が安心できるように対応しています。食べないとは、失認ということで、目の前の物が食べ物という情報が脳には入っているものの、それをうまく認識できず食べないということがおきます。認知症状でうつのようになり動きたくないことから食欲がないことや、便が出ないことで食べたくないなど食べたくない理由は人それぞれです。

(委員) しっかりしている方が認知症の方を見て戸惑うことはないのか。そのフォローはどのようにしているのか。

(執行部) 認知症の症状によってその方が安心して過ごせるよう別室で対応したり、一般型でも同じようなレベルの方と過ごせるよう予め席を調整したりします。一般型の元気な利用者が地域密着型の利用者に優しく言葉がけや、できるお手伝いしていただける場合もあります。

(委員長) それでは、次の議題について執行部より説明をお願いします。

②平成 29 年度上半期の実績報告 (別紙資料 2 のとおり説明)

③平成 29 年度上半期の活動状況報告 (別紙資料 2 のとおり説明)

(委員) 登録定員がいっぱいでお断りすることはあるのか。

(執行部) 震災後は定員に達していましたが、震災後 4 年ほど経った頃から空きが出てきています。

(委員) 稼働率が半分程度だが低迷の利用はどのような原因があげられるか。

(執行部) 最近では施設へ入所するスピードが早くなった点が挙げられます。10 年ほど前は、介護度が重くなくても家族同士 (子どもや孫、兄弟など) が協力して介護していましたが、最近は家族の形態も変化し、家族が介護する限界が早くなったように思います。独居の方も増え、認知症の症状が進行するとなかなか自宅で過ごすことが難しいことも多いです。また、ショートステイを併用している方もおり、その間はデイサービスの利用から抜けることとなります。

(委員) 事例のケースの方は介護度の変更は行ったのか。

(執行部) 介護 1 のままで変更はしておりません。介護保険の更新時期が 12 月で、サービス利用も当事業所のみで他のサービスを利用予定もないためです。

(委員) 事例のケースの方が他のデイサービスでうまくいかなかった理由はどんなところか。

(執行部) 家族からの聞き取りで以前他のデイサービスを使っていたことを知りました。うまくいかなかった理由はお話されませんでした。当デイサービスを継続していきたいとのご意向をいただきました。

(委員) ご家族からの地域密着型への移行希望はあるのか。

(執行部) 契約の段階で一般型と地域密着型の説明を行います。実際に認知症の症状が出ていない方やまだ心配する程度でない場合は、ご家族から移行の話は出ません。事例のように経過を観察し、個別の必要性と対応の効果について説明し必要があれば段階的に移行を働きかけています。

(委員長) 以上をもって議事の一切を終了とします。ご協力いただきありがとうございました。

(6) その他

(鯨岡委員)

①認知症ふれあいカフェについて

毎月第1月曜日14:30～15:30参加費100円

②介護予防教室～いきいき100歳体操 12月2日(土)13:30～15:00

(関端委員)

①10月5・6日介護サミット無事に開催できました。

②認知症セミナー11月17日(金)9:30～講師:南東北病院認知症サポート医
(事務局より)

次回開催時期 平成30年3月(予定)

さとのもり機能訓練について

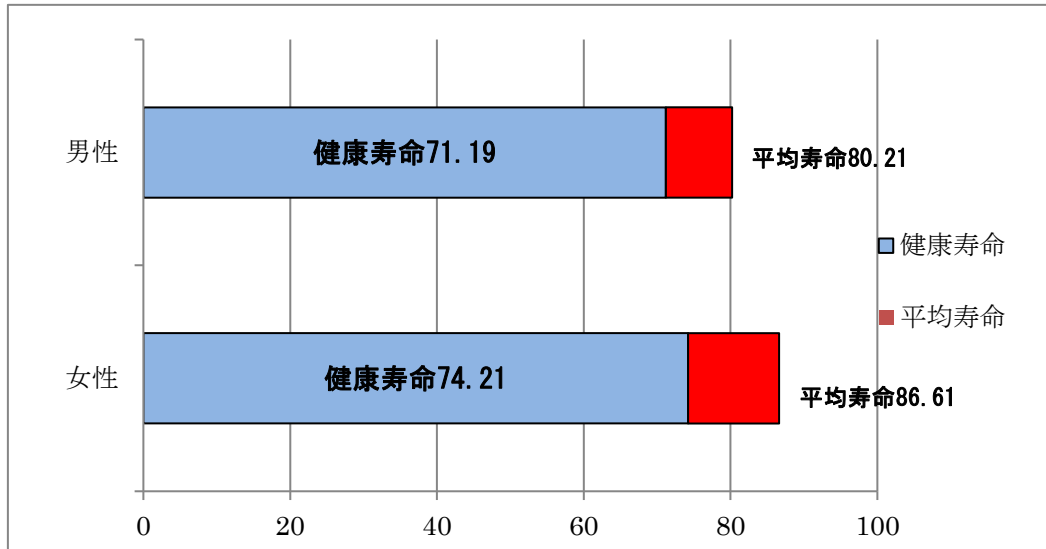
デイサービスさとのもり 機能訓練指導員

作業療法士 山口怜子

I なぜデイサービスで運動を行うのか

1. 健康寿命について

日常生活に制限があると感じたら、『不健康寿命』です！



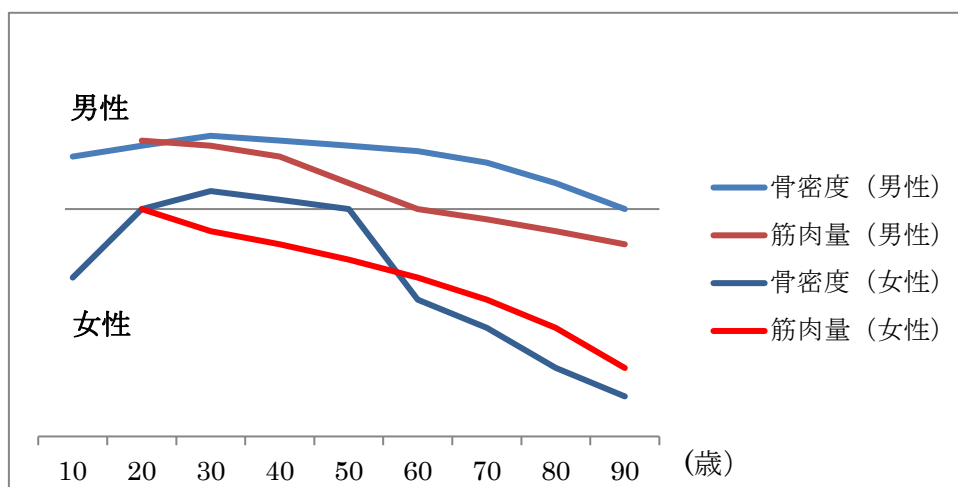
厚生労働省「平成25年簡易生命表」より

私たちの寿命はのび続け、今では人生90年に手が届こうとしています。一方で、『健康寿命』が、平均寿命より男性は約9年、女性は約12年も短いことが分かりました。

日常生活に制限がある・・・

制限の多くは、骨や筋肉の衰えから立ち座り、歩くことが困難になる事が原因です。

2. 人間の骨密度や筋力について



人間の骨密度や筋力は、加齢により低下していきます。

60歳では、20～30歳の頃の約半分！

しかし、運動をすれば、筋力は向上します。

90歳を過ぎても運動の効果はみとめられています。

さらに、習慣化すると認知症の予防に効果があることが分かってきました。

3. 運動の効果

<からだ的な効果>

- ① 筋力がアップし、柔軟性が高まる。
- ② 腰や膝の痛みが軽くなる。
- ③ 食欲を維持し、消化・吸収を増す。
- ④ 健康的な体形の維持。
- ⑤ 心臓・肺・血管の機能が高まる。
- ⑥ 肥満・高血圧・糖尿病等を予防する。
- ⑦ 抵抗力を高める。
- ⑧ 生活習慣を改善するきっかけになる。

<精神的な効果>

- ① 気分爽快やストレス解消
- ② 認知症の低減
- ③ 運動を通して輪が広がる。

Ⅱ さとのもりではどんな運動を行っているか

1. 全身のストレッチ（全身の関節を動かす）
2. 道具を使用した運動（ゴムボール、ゴムバンド、棒等）
3. 足踏みや立ち上がり訓練
4. 指先の運動（洗濯バサミ、ひも結び、ペグの抜き差し等）
5. プリント（計算問題、漢字問題、まちがい探し等）

Ⅲ 認知症特有の工夫

1. 認知症の主な症状
 - ① 記憶障害
 - ② 見当識障害（日にち、自分がいる場所、知っているはずの人がわからない）
 - ③ 判断力の障害
 - ④ 失語（聞く、話す、読む、書くがうまくできない）
 - ⑤ 失認（目、耳、鼻、舌、皮膚等は問題ないのに、正しく認識できない）
 - ⑥ 失行（体は動くが、やろうとする行動の方法がわからなくなる）
2. 周辺症状
環境や心理状態によって異なります。
服薬や介護、リハビリによって改善する事もあります。
 - ① 認知症による徘徊
 - ② 弄便（べんいじり）
 - ③ 物盗られ妄想
 - ④ 認知症によるせん妄
 - ⑤ 幻覚と錯覚
 - ⑥ 認知症によるうつ・抑うつ
 - ⑦ 暴力・暴言・介護拒否
 - ⑧ 失禁
 - ⑨ 不眠・睡眠障害・昼夜逆転
 - ⑩ 帰宅願望
 - ⑪ 食べない
 - ⑫ 異食

3. 運動にお誘いするときの工夫

- ① お席の周りの方と一緒に声をかけます。お一人だと、運動や移動に拒否的でも、周囲の雰囲気や、利用者同士で誘い合う等して、運動に参加しやすくなります。
- ② 生活の一部にします。(訓練室の帰りはトイレに寄ることにする等)

4. 運動中の工夫

- ① 体の異変に自分で気付きにくく、伝える事が苦手なので、表情や呼吸状態、運動前の血圧等に注意します。
- ② 説明ははっきりと、簡単な言葉(なじみのある言葉等)で理解しやすくします。手本や見本を交えて説明します。
- ③ 雑談の時も、利用者様の話を再度言う等して、雑談の輪に入りやすくします。集中力を保つ事が苦手なので、メリハリをつけます。
- ④ 反応や行動がゆっくりのため、安心してできるよう、運動の見本をゆっくりします。また、特定の方のみに声掛けするのは極力少なくし、参加者全員にむかって声掛けするようにします。

5. その他

- ① 小集団(5～6人)での運動がむずかしい方は、個別に対応します。
あらためて、運動というと、身構えてしまう方もいますので、入浴やトイレへの移動時に普段車椅子の方は歩行器を使用して歩く事や、お席の近くの方とキッチボールをする等、馴染みのある活動で運動量をあげていきます。

IVまとめ

認知症の症状は、もともとの性格や育ってきた環境、現在の生活環境によって変わります。また、その時の状況も影響するので、利用者様一人として同じ症状の方はいらっしゃいません。その場面、その方に合わせた対応をその都度工夫していく必要があります。

平成29年度上半期

実績報告・活動状況報告

認知症密着型

定員 10名

営業日は月～金曜日

職員配置 管理者 1名 生活相談員 1名 介護職員 1名 看護職員 1名

利用状況

登録利用者数 11名 (男性4名・女性7名)

利用延人数 618人

(平成29年4月1日～平成29年9月30日 延122日)

1日平均利用者数 5.1人

新規利用契約者 3名

退所者数 3名 (入所、長期入院により退所)

平成29年9月30日現在

	地域密着型延人数	開所日数(土・日・祝日を除く)	1日平均利用者数
4月	95	20	4.8
5月	87	18	4.8
6月	119	22	5.4
7月	106	20	5.3
8月	105	22	4.8
9月	106	20	5.3
10月			
11月			
12月			
1月			
2月			
合計	618	122	5.1

ウロコは、ご利用者作のおりがみのカブト



四月花見ドライブ。桜のほか木蓮などいろいろな花を見てまわりました。普段通らない市内の場所は、街並みの変化に驚きましたね。



4月17日お花見膳

- ・桜ちらし寿司
- ・潮汁
- ・鮭の香草フライ
- ・白和え
- ・即席漬け
- ・桜羹



食卓も笑顔満開



ささのもり通信 5月号

第56号



4月から今まで以上に
目標に沿ったリハビリを実施中！！

『家事や買物を続けたい』『家族と一緒に茶の間でご飯を食べる』など歩くことを目標とされる方が多いです。

目標達成にむけたリハビリ内容の例

・足の筋力訓練 ・立ち上がり訓練などに加えて

小集団で行う
ことが難しい方

個別に
・ストレッチ
・立ち上がり
訓練

腰やお腹の力をつける	手指の動き維持・改善	呼吸がしやすくなる	脳の活性
・胴まわりの筋力ストレッチ ・筋力トレーニング 等	・ひも結び ・洗濯バサミつまみ 等	・呼吸にかかわる筋肉のストレッチ ・腹式呼吸の練習 等	・漢字 ・計算 ・間違い探し

集団体操も実施！！
楽しく体を動かしましょう。



☆仙台空港ツアー☆
6月21日(水)~30日(金)

飛行機やアクセス鉄道電車の発着を見て興奮!



→コックピットの
体験コーナー!
操縦経験があり
感慨深いですね。



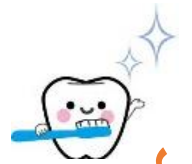
さとのもり通信

7月

第57号

6月のある日の献立

- ・茶そば汁
- ・そら豆とエビのかき揚げ
- ・キャベツの肉みそ炒め 等



お口の健康も長寿の秘訣



- ・おいしく食事をする
- ・話を楽しむ
- ・いきいきとした表情で人と交流する
- ・心とからだを健康に保つ



外食はお好みのメニューを
完食! 1番人気は、はらこ飯膳。



↑岩沼のひつじたち



6月おやつ作り

フルーチェ作り
イチゴを添えて



7月の活動
七夕かざり作り等

お知らせ



年齢を重ねていくと、お口の働き
が衰え、「口の中の汚れ」や「食べ
る機能の低下」が原因で、さまざま
な病気を引き起こすことにつ
ながります。

元気で過ごすため、

お口の手入れ (清潔保持) と

お口の体操 (食べる機能低下予

防) を習慣化しましょう。



ご家族代表



ご家族・地域の方も参加 夏祭り

↑山形尾花沢のスイカを一撃！
↓皆さんおかわりで出店は大忙し！



さとのもり通信

9月

第58号

8月21日～25日まで、夏祭りを開催しました。

25日は、ご家族や里の杜サロンすみれ会の皆さん、民生委員さんをご招待しました。

『(ハア)ヨーイヨーイ ヨーイ トナ)』と相馬盆唄に合わせて賑やかな踊りからスタート！
スイカ割り3回と職員の余興や出店など、見てよし・食べてよしでした。

8月21日(月)～24日(木)
・お神輿・射的ゲーム
・とうふ入りお好み焼き作り



9月の予定

- ・敬老週間
- ・運動系レク
- ・ボランティア慰問
(多数予定)



さとのもり夏野菜カレー

くカボチャ・ナス・トマトなど豊作く

さとのもり菜園



採れたての野菜が活かされたメニュー

〈一般型から地域密着型へ移行した方の報告〉

一般型から地域密着型への移行の目的: 認知症や状態の変化があっても、必要な支援を受けることで通い慣れたさとのもりで安心してサービスを継続していただくため。

Yさん、84歳、女性。H29年2月より一般型で利用開始。

H29年8月10日の利用後、風邪を引き18日間休まれた。利用再開後、利用時の変化が大きく個別支援が必要になった。

ご家族へ経過を報告し受診と地域密着型への移行の提案を行った。

ご家族の意向: 家族2人の生活で、他者と関わる機会を持ってほしいことからサービス利用へ至った。さとのもりを利用する前に2回他のデイサービスを利用してみたが、うまく利用できなかった。今回体調を崩すまでは、利用前より活気が出て目に力を感じられていた。認知症の検査は受けていなかったため、この機会に認知症外来を受診したい。地域密着型になっても今までのなじみの職員が対応してくれて、大きく環境が変化せずサービスが充実するならば地域密着型への移行をお願いしたい。

ご家族から移行の了承を得られたため、H29年10月1日より地域密着型へ移行となった。

〈ご利用者の利用時の変化と職員の対応〉

	利用時の変化	職員の対応	効果
身体面	<ul style="list-style-type: none"> ・ふらつきが見られ、歩行のスピードが落ちた。 ・個別機能訓練時も立ち上がり練習10回できていたことが5回しかできないことがあった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・顔色や表情、血圧から身体状況を把握する。 ・歩行時は転倒に注意し付添い支援。 ・個別機能訓練は小集団で困難な時は個別対応を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体調の変化に気づくことができる。 ・安全に歩行することができる。 ・身体状況に合わせ個別機能訓練のメニューを実施することができる。
食事面	<ul style="list-style-type: none"> ・ご飯とみそ汁のみ食べて、おかずには手をつけられないことがあった。 ・洋食メニューやお膳になると戸惑ってしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・洋食メニューも大皿に盛らず、御飯、汁物、おかずと盛り付ける。 ・おかずが残らないように声をかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して食事を取ることができ、おいしさを感じる余裕を持つことができる。
排泄面	<ul style="list-style-type: none"> ・以前は自分でトイレに行っていたが、自分では行こうとされない。 ・排便があっても出ている感覚がない様子。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動後や歯磨き後等、立ち寄りやすいようにトイレ誘導。 ・汚れていた場合はパット交換行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・不快な思いをせず、生活することができる。
コミュニケーション面	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉がこもるようになり、自分の意見をうまく伝えられない。 ・理解力の低下が感じられた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・何を伝えたいか、ゆっくり話を聴く。 ・わかりやすい話し方や動作を交えながら説明を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周りの様子を理解し、孤独感や疎外感なく利用することができる。
認知面	<ul style="list-style-type: none"> ・自席がわからないことや、歯磨き等実施したことを忘れてしまう時がある。 ・動くことを嫌がる等意欲の低下が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・座る位置を変えない等安心できる環境にする。 ・参加しやすい雰囲気づくりをし、興味を持てる活動、話しを増やしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して利用することができる。 ・活動の機会を増やすことができる。

第3回運営推進会議 (平成29年10月13日)

